

「あいち国際戦略プラン 2027」中間評価（概要版）

■ 中間評価について

2022年12月に策定した「あいち国際戦略プラン 2027」について、2025年度は、計画期間の中間年に当たることから、本プランに位置付けたそれぞれの目標の達成状況と、今後の方向性を確認するため、有識者の意見を踏まえながら、本プランの中間評価を実施した。

■ あいち国際戦略プラン 2027 の概要

目指すべき愛知の姿			
世界と行き来するヒト・モノ・カネ・情報により成長を続ける愛知			
時代に即したグローバル人材の輩出	外国人材の活躍による地域の発展	愛知ならではの魅力の認知による愛知のブランドの確立	愛知型成長モデルによる産業の発展
目指すべき愛知の姿を実現する戦略・施策の方向性			
若者のグローバル人材としての育成 （国際性×創造性） （施策の方向性） ①英語力、コミュニケーション力の育成 ②国際感覚の醸成 ③イノベティブな人材の育成	仕事、生活の充実による外国人の活躍、定着の促進 （海外の知識×地域の力） （施策の方向性） ④外国人留学生の受入、活躍促進 ⑤外国人材の就業、起業促進 ⑥外国人も住みやすい地域づくり	愛知ならではの多様な魅力の発信 （伝統×最先端） （施策の方向性） ⑦愛知ならではの魅力を活かした外国人旅行者の誘致 ⑧国際イベントの誘致、活用 ⑨国際交流拠点としての機能強化	愛知型成長モデルによる産業の国際競争力強化 （モノづくり×デジタル化） （施策の方向性） ⑩イノベーションの創出 ⑪国際ビジネスの拡大支援 ⑫外国企業等の誘致
横断的な視点			
ウィズコロナ・アフターコロナの国際社会の変化 / 方法・内容の両面で施策を柔軟に展開			
変化する国際情勢における海外地域との交流 / 幅広い地域との連携を活かし次代を担う若者を中心に多層的な交流を展開			

■ あいち国際戦略プラン関連事業の主な取組

若者のグローバル人材としての育成

- あいちリーディングスクール事業の実施
- 米国2州と覚書をアップデート
- 提携先との高校生訪問団の相互派遣
- 県立高等学校での中高一貫教育の導入、整備の推進

仕事、生活の充実による外国人の活躍、定着の促進

- 留学生インターンシップの実施、ジョブフェアの開催
- 外国人介護人材の受入促進
- あいち外国人材受入サポートセンターの設置
- 日本語初期指導教室等への補助

愛知ならではの多様な魅力の発信

- ジブリパーク全5エリア開園
- 愛知国際アリーナ（IGアリーナ）の開業
- 第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会を契機としたプロモーション
- MICEの誘致促進、開催支援

愛知型成長モデルによる産業の国際競争力強化

- STATION Aiの開業
- TechGALA Japanの開催
- 海外スタートアップ支援機関・大学との連携
- 国際的な展示会への出展支援
- 海外産業情報センター等における海外展開支援

■ 中間評価のまとめ

- ・ コロナ禍を経て、デジタル化の進展や厳しさと複雑さを増す国際情勢が、国際交流に影響を及ぼしているが、本県が世界とつながり成長する地域であり続けるために、次代を担う若者を中心に幅広く多層的な交流を実施し、未来に続く施策を展開するという戦略の重要性に変わりはない。したがって、戦略の柱立てを変える必要はなく、現在の国際戦略を推進していくべきである。
- ・ 今後は、本県において開催される第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会（2026年）など、大型イベントの開催を好機と捉えて国際戦略を推進していくべきである。
- ・ また、愛知県の魅力を国内外に広く発信するとともに、経済界、大学等教育機関、県内市町村等と密接に連携・協力し、推進することが重要である。
- ・ なお、今後の事業は、大きく変化する国際情勢を見極めながら、適切に実施していく必要がある。

<今後の留意点>

【若者のグローバル人材としての育成】

- ・ 引き続き「あいちリーディングスクール事業」を実施するなど、外国語教育の充実を図る。
- ・ 海外の提携先地域との高校生訪問団の相互派遣を実施するなど、県内の学生が海外の文化等に直接触れ、異文化に対する理解を深める機会を引き続き提供していく。
- ・ 新たな海外大学等との連携、協力関係の構築に向けた検討を進めていく。

【仕事、生活の充実による外国人の活躍、定着の促進】

- ・ 産学行政が連携した留学生インターンシップの実施やジョブフェアの開催、日本語学習等に関する情報発信を行うことにより、留学生の当地域への定着及び活躍を促進していく。
- ・ あいち外国人材受入サポートセンターにおいて、企業・外国人双方からの相談対応や企業への伴走型支援を実施するなど、県内中小企業における外国人材の確保及び外国人の就労を支援していく。
- ・ 外国にルーツのある生徒を対象とした中高一貫教育を導入するとともに、進学や就職に向けた切れ目ない支援のため、外国人児童生徒等を対象としたインターンシップの実施等を行っていく。

【愛知ならではの多様な魅力の発信】

- ・ 「質」を重視する観光への転換を図る。
- ・ 2026年の第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会、2027年の第60回アジア開発銀行年次総会、2028年の第49回技能五輪国際大会など、大型イベントの開催を好機として、地域の活力や国際的な発信力の向上につなげていく。
- ・ 愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）や愛知国際アリーナ（IGアリーナ）を核に国内外の各種イベントや展示会の誘致を進め、国際交流拠点としての機能強化を図る。

【愛知型成長モデルによる産業の国際競争力強化】

- ・ 日本最大のスタートアップ支援拠点 STATION Ai を中核にスタートアップ支援を展開するなど、ソフト面の支援の充実を図ることで、スタートアップの創出、誘致に取り組んでいく。
- ・ 国内外の展示会・商談会への出展支援を行うとともに、愛知県の国際的なパートナーシップを活用して国際的なビジネス交流の機会を提供することにより、県内企業の海外販路開拓を支援していく。
- ・ 関係機関と連携し、本県への外国企業の誘致や海外からの投資を促進していく。